



市民の生活から生まれ

市民の生活に根づき

市民の心を育てた祭り

鹿沼秋まつり

静寂の朝

祭りは、町内こぞつての「朝参り」から始まる。

十月第二土曜、日曜日の二日間、

絆纏に身をつつんだ若衆が、

先人より受け継いだ

豪華絢爛、勇壮優美な彫刻屋台を曳き廻す。

その始まりは、四百年前の慶長十三年夏、

日照りが続いたこの年、

氏子たちは今宮神社に祈りを捧げた。

雨乞いをする事三日三晩、

一天にわかに掻き曇り、激しい雷雨となった。

氏子たちは今宮を靈験あらたかな氏神と敬い、

雨のあがった夕べの六月十九日を宵宮、

二十日を祭礼の日として鉾、神を出して神徳に感謝した。

今では、氏子三十四カ町が参加する「屋台の繰り込み、繰り出し」や市内全町あげての「市民まつり」が繰りひろげられる。



ようこそ
彫刻屋台のまち鹿沼へ
鹿沼秋まつり



鹿沼秋まつり実行委員会
会長 佐藤 信



鹿沼いまみや付け祭り保存会
会長 小林 幹夫

自然豊かな鹿沼のまちが色づく季節・・・江戸時代から受け継がれてきた市民の財産「鹿沼彫刻屋台」の美と妙が冴える季節の到来です。令和元年から4年、自然災害や新型コロナウイルス感染防止により、やむなく開催中止とさせていただきましたが、今年、令和はじめての開催を迎えることができました。まだまだ、コロナ感染完全終息には至っていない状態を踏まえ、充分な感染防止策の徹底を図り、内容等を変更縮小し、開催いたします。「鹿沼秋まつり」は、国指定の文化財であり、全国33件の祭りとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。その意味でも、祭文化の継承を図る開催といたします。400年の時を超え、鹿沼彫刻屋台が織りなす「勇壮優美」「豪華絢爛」な時代絵巻をお楽しみください。



目次

まつりのはじまり	3	鹿沼の彫刻屋台解説	12
今宮神社	4	繰り込み・繰り出し	13
御巡幸	5	伝世の彫物	14~17
当番組・当番町(一番町)	6	現代の名工	18~19
一番町屋台	7	太々神楽	20
各組屋台	8~11	ご協賛いただいたみなさま	21~31